

KENWAKAI HOSPITAL MAGAZINE

ゆめかなえ

健和会病院 広報誌

1973-2023
50th
ANNIVERSARY

50周年記念特別号

No. 14

2023年12月発行

地域とともに50年

いのちの平等を掲げて



50 Summary of 1973-2023 年の歩み



1973

和田病院
開設(外科)
(病床数24床 /
職員数12名)



1983

病院名称を
「健和会病院」
に改称
(病床数110床)



2001

全館リニューアル
● 院外処方箋発行を開始
● 療養病棟開設
(病床数180床)



2023

創立50周年
50th
ANNIVERSARY
(職員551名)

1976

● 内科開設
● 第2期工事完成
(病床数55床 / 職員56名)

1986

● 病床増床
(病床数124床)

1996

● 訪問看護ステーション開設

2003

● 病棟開設(病床数199床)
5階増築 /
回復期リハビリテーション病棟

2004

● 高次脳機能障害
拠点病院認定

2011

● 無料低額
診療開始

2014

● 社会医療法人格を取得
● 地域包括ケア病棟開設(5床)
● HCU(高度治療室)開設

1974

● 長野県民主
医療機関連合会結成

1982

● 内科病棟増床
(病床数69床)

1984

● リハビリ室開設
● 病理診断科開設

1990

● 泌尿器科開設

1995

● デイケア開設
● 在宅医療室開設

1999

● 形成外科
開設

2007

● 電子カルテ
導入

2009

● DPC 病院

2010
病児保育 開設



2018

WHOのHPH
(健康増進活動拠点病院)
に加盟



2022

● 病棟再編
(病床数189床)

1980

● 医療法人の資格を取得

1987

● 血液透析室開設(9床)
● 増築工事完成(病床数150床)
● 小児科開設

2002

健和会飯田中央診療所 開設

● デイサービス・ヘルパーステーション・
訪問看護ステーション併設



2015

医療介護総合センター建設
サービス付き高齢者向け住宅
「かなえの里」開設

● 新厨房にて南信初のニュークックチル方式稼働 ● 血液透析室増設(80床)



当時の医局の様子(1987)



1997

かやの木診療所
開設



健和会病院での 外科医人生

外科医
本田 晴康



職員の声

私は卒後14年目に信州大学外科を辞して当院に就職しました。就職して驚いたことは手術を始め外科診療が大学の関連病院と遜色なく行われていることでした。症例も多く、大変やりがいを感じたことを思い出します。上司の先生方からのご指導、新たな技術を求めて他院での研修、新たな術式の導入等々と楽しい日々でした。現在は肛門診療を中心に飯田下伊那のみならず上伊那の病院からも紹介を頂いて手術を中心とした診療を行っています。就職後26年、この間多くの職員の手術も担当し、また一人の患者さんに複数回の手術をしたり、更に同一家族内の手術を担当させていただいたり長く勤めることで信頼を頂いてきたのかなと感謝しています。外科医冥利に尽きることです。愛する健和会外科の更なる発展のため皆様のご協力を頂きながらまだまだ頑張ろうと思います。

健和会で 働き続けて

療養病棟
嶋 ひさ江



職員の声

健和会病院に勤めて、諸先輩方に助けられながら早30年になります。現在は30年前に比べ、医療・介護のニーズは増え、多様化、複雑化してきていますが、人も財源も限られ、働く仲間たちの疲弊感をひしひしと感ずることがあります。これは日本中の看護・介護現場で起きている事です。疲弊感を持ちながらではいい看護介護は提供できません。だからこそ人員増、処遇改善、社会保障拡充の運動が大切です。石垣靖子先生の講演で「人を大切にすること、病院に大切にされているという思いが患者さんを大切に、成長できる」という話がありました。まさに今、健和会病院に求められることではないでしょうか。私も、自分自身と働く仲間を大切しながら、よりよい看護が提供できるようにしていきたいと思ひます。

石垣靖子…北海道医療大学名誉教授 ホスピスケア先駆者

いろいろな 経験をしながら 成功体験と一緒に

在宅リハビリテーション科
酒井 素子



職員の声

入職から回復期リハビリテーション病棟を経験し、現在は訪問リハビリテーションに所属しています。在宅分野で働く中で多職種連携の重要性を実感していますが、健和会病院は院内で様々な分野があるので連携が図りやすいように感じています。利用者さんに関わる中では、運動だけでなくリハビリの一環で作品を作って作品展へ出展したり、買い物の練習や障害者スポーツへの参加などの取り組みも行っており、小さなことでも「できた!」という成功体験と一緒に共有できることがとてもうれしいです。これからも利用者さんと一緒にいろいろな経験をしながらより良い在宅生活を送るためのサポートができればと思っています。

「検査」の 職人魂の引き継ぎ

検査科
伊坪 哲也



職員の声

臨床検査技師として働き始めた30数年前と今とは、仕事の内容は劇的な進化をとげてきたと感じます。紙カルテの時代、検査結果は複写式の伝票に手書きが基本で、生化学データはドット式プリンターで印字して報告していました。生化学分析装置が入り始めた頃でしたが、結果が出せる項目も多くなく、電解質は炎光光度計やイオン電極計を使い、またピペットを使い検体と試薬を反応させる比色法も大活躍しており、1件1件用手法で測定していました。電子カルテとオーダーリングシステムが入ったことで、検査業務の多くを占めていた事務的作業から解放され省力化が進み、正確性と安全性が格段に向上しました。職人技は消えていきましたが、「検査」の職人魂は引き継がれていってほしいです。

健和会病院とわたしたち

50周年を迎えて、今までとこれから / 病院に期待すること

地域の皆さんとともに 次の50年を目指して

外来医事課
和田 拓也



職員の声

職員になってから5年とちょっと、伊那谷友の会の各地の班会に何度も参加させていただきました。どの班会にお伺いしても、その地域の皆さんが若造の自分をあたたかく迎え入れてくださり、一緒にお茶を飲みながら当院にまつわる思い出話や率直な意見を聞かせてくださいました。当院が50周年を迎えられたのも、こうして支えてくださる地域の皆さんのお陰なのだ実感しています。現在、厳しい診療報酬改定が繰り返されており、当院の経営においても病院の建て替えや、医師の働き方改革などの課題が山積みになっております。困難な状況でも、地域を向いた医療活動を続け、地域の皆さんとともに次の50年を目指せると信じております。

利用者さんの 暮らしや生活支える 職員でありたい

健和会
デイサービスセンター
宇佐美 奈美子



職員の声

私が健和会に入職し13年となりましたが、介護の仕事をさせていただく中で、待つことの大切さを学びました。利用者さんのペースに合わせて待つことは、変化に気づく事ができ、観察することで何が必要で何を求めているのかを知る近道だと思います。自立支援をするにも、思いやりや信頼関係が大切です、そのためにも、利用者さんのことを知ることが大切と考えます。利用者さんがどんな状況、状態になっても納得した日々を過ごせるように、その人らしい「暮らし」や「生活」を支えていけたらと思っております。介護という仕事は自分が人として大きく成長できる場であると感じており、介護の仕事をしていることを誇りに思っています。そしてこれからも健和会病院の介護事業所の職員として考え行動できる職員でありたいと考えております。

応援 ばあちゃん

売店ひまわり
関 佐紀子



地域の声

健和会病院の売店に勤め始めてからいつの間にか20年以上になり、気が付くと毎日飛び込んでくれる職員は孫たちの世代。ラーメンだけ買っていく子にはつい「おかずは？サラダは？」と声をかけたりしますが、若者たちは懸命に働く姿を見せてくれます。「きょうは、患者さんがほめてくれたんだよ。あんたの顔見ると元気が出るよ、って」満面の笑顔です。「ガンが再発して…」という方も来られます。「私も乳がんになったとき、和田穆先生に言われた。病気を治すのは、治そう!というあなたの気持ちだ」と。「そうだね。気持ちが大事だね」と明るい顔になる方を見るとホッとします。「働く者の病院を!」と作られて50年、健和会病院の片隅でその火を守り続けたいと思う毎日です。

交流を深め、 手助けを続ける

労働者協同組合
ワーカーズコープ
ながの一同



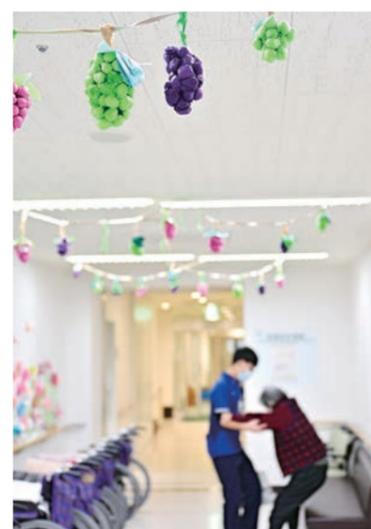
地域の声

創立50周年、誠にありがとうございます。日頃よりワーカーズコープながのの事業運営に多大なご協力をいただき深く感謝申し上げます。健和会病院さんとは1986年振動病患者の就労の受け皿として洗濯業務を開始し、現在では院内洗濯・デイケア送迎・駐車場案内を委託業務として受託し病院との連携を大切に日々の業務に励んでおります。労協ながのは4月より「労働者協同組合ワーカーズコープながの」に名称変更をし、名実ともに協同組合の仲間入りを致しました。引き継ぎ病院職員の皆さんや地域の皆さんとの交流を深め地域医療の手助けができればと存じます。厳しい社会情勢の中ではありますが今後とも皆さんとの連携を賜る様ご支援賜りたくお願い申し上げます。

これからもずっと

地域の方々が安心して

かけられる病院を目指して



健和会は、1973年12月3日に、医師1名、職員12名、24床の和田病院としてスタートしました。それから50年がたち、現在では1病院(189床)、2診療所、他計6施設、医師26名、職員551名となりました(2023年12月1日現在)。地域医療に一定の役割を果たしているものと自負しています。

また、私たちは、「命の平等」を掲げ、差額ベッド料を取らない、無料低額診療の実施、困難を抱えた方々への支援、制度の矛盾をたすための活動にも取り組んできました。

この50年の、特に後半は政府の医療費抑制政策が強まる中で、苦難の連続でした。そんな中でもなんとかこれまでやってこれたのは、地域の医療・介護施設との連携、職員の奮闘、そしてなにより伊那谷健康友の会をはじめとする地域の皆様のご支援によるものと感じています。今後ともよろしくお願いします。

なお、現在「50年誌」を編集中であり、50周年記念行事も考えています。



外来診療体制表

			月	火	水	木	金	土
内科	午前	当日受付①	鷺見 順教	伊壺 友希	平林 直章 (第1・3・4・5週)	横川 清	吉長 恒明 (第1・3・5週) 湯澤 千波 (第2・4週)	交代制
		当日受付②	吉見 大輔	吉見 大輔	前澤 浩(第2週)	八木 ひかる	八木 ひかる	
		当日受付③	小林 奈津子 (消化器内科)	牧内 雅信(11時迄) (循環器内科)	小平 睦月 (循環器内科)	原 悠太 (腎臓内科)	塚平 俊久 (消化器内科)	
		当日受付④	牛山 雅夫(11時迄) (脳神経内科)					
		予約診療		平林 直章	北原 明倫	北原 明倫	伊壺友希/鷺見順教	
	午後	予約診療	伊壺 友希		北原 明倫		八木 ひかる 北原 明倫	
	夜間	予約診療			塚平 俊久(第3週) 清水 信明(第3週)			
循環器	午前	予約診療	小平 睦月 (第1・5週)	牧内 雅信 小平 睦月	牧内 雅信	牧内 雅信 小平 睦月(第2・4週)	牧内 雅信	清水 信明(第4週)
	午後	予約診療			清水 信明 (第1・2・4・5週)			
消化器内科	午前	予約診療	塚平 俊久	関口 恭弘	塚平 俊久 関口 恭弘	塚平 俊久 小林 奈津子 関口 恭弘		塚平 俊久 (第4週)
	午後	予約診療			塚平 俊久			
脳神経内科	午前	予約診療			牛山 雅夫	牛山 雅夫	牛山 雅夫	牛山 雅夫(月1回)
	午後	予約診療	牛山雅夫/吉見大輔					
呼吸器内科	午前	予約診療						八木 ひかる(月2回)
	午後	予約診療			前澤 浩			
腎・内分泌	午前	予約診療	熊谷 悦子				原 悠太 横田 昌 (第1・2・4・5週)	熊谷 悦子(第1週)
	午後	予約診療	熊谷 悦子(DM) (第2・3・4・5週) 原 悠太(第1・3週)	熊谷 悦子 (CAPD)第1・3週 (HHD)第2・4週	熊谷 悦子 (第1・2・3・5週は CKD外来あり)			
嚥下外来	午後	予約診療		福村 直毅				
整形外科	午前	予約診療	平林 直章					
もの忘れ	午前	予約診療	北原 正和 (第2・3・4週)		牛山 雅夫			
	午後	予約診療						
精神科	午前	予約診療			服部 美秀			服部 美秀(月1回)
	午後	予約診療			服部 美秀			
	夕方	予約診療			服部 美秀			
脳神経外科	午前	予約診療		北原 正和		北原 正和 (第1・3・5週)	北原 正和	
	午後	予約診療		北原 正和	前澤 浩	北原 正和		
外科	午前	当日受付	本田 晴康	赤澤 智之	交代制	津澤 豊一	津澤 豊一	休診
		予約診療	本田 晴康	本田 晴康 赤澤 智之	林 誠一(振動病) (第1・2・3・4週)	津澤 豊一	赤澤 智之 (第1・2・4・5週) 津澤 豊一	本田 晴康(第3週)
	午後	予約診療		熊谷 嘉隆(第5週)		熊谷 嘉隆		
乳腺	午後	予約診療	本田 晴康 (第3、偶数月) 赤澤 智之 (第3、奇数月)					
肛門外来	午後	予約診療					本田晴康(第2・4週)	
泌尿器科	午前	当日受付	熊崎 匠	熊崎 匠		熊崎 匠	熊崎 匠	熊崎 匠(第2・4週)
形成外科	午前	予約診療	矢高 森人				矢高 森人	
	午後	予約診療		矢高 森人	矢高 森人			
小児科	午前		和田 浩	和田 浩	和田 浩	鈴木直美/光武鮎 (交代制)	和田 浩	和田 浩 (予約のみ)月2回
	午後			和田 浩	和田 浩	鈴木直美/光武鮎 (交代制)		
	夕方		和田 浩				和田 浩	
禁煙外来	午前	予約診療				八木 ひかる		

